

新年明けましておめでとうございます。皆様には輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年十月には、第二十七回いちご一大会とちぎ国体と第二十二回全国障害スポーツ大会が盛大かつ成功裡に行われました。

準備期間にボランティア等で協力された方々にはご苦労様でした。

さて、本市の人口ですが、二〇一七年の五十二万人をピークに、二〇五〇年には四十五万人と七万人の減少が見込まれています。特に本市の高齢化率は二一%と超高齢社会そのものですが、緑が丘はこれを大幅に超える三三・三%と超超高齢化の町です。

そこで、昨年度より準備してまいりました「介護予防日常生活支援総合事業」の訪問型サービスBを双葉一丁目自治会から「緑が丘地区ふれあいセンター」（新設）に移管し実施体制を整えました。

今後の活動は地域の包括支援センターと各自治会、社会福祉協議会・民生委員・福祉協力員の協力を得、ひとりで悩んでおら



## 住みよい福祉のまちをめざして

緑が丘地域まちづくり協議会  
緑が丘地区連合自治会

会長 大垣 重昭



No.47

域り会  
緑が丘  
地くち  
づ議  
ま協

れる方々の手足となり喜んでいただけるお手伝いを実施してまいります。また、本年の重要な事業として「地域ビジョン策定」に取り組みます。これは、地域が将来ともに住みやすい、心地よいまちづくりを住民全体で考えるものとして位置づけし、全住民を対象としたアンケート調査を実施します。

一方、各団体の活動もコロナ禍を上手に乗り潜り、体育祭・敬老会・さわ会・小学校との交流会・コミセン祭などを実施しました。改めて、人と人との出会い、ふれあい、そして笑いがこれこそ人間社会の原点だと感じたところです。

結びに、長年にわたり緑が丘地区の発展にご尽力をいたしました前任者、大先輩の故金田貞夫様に衷心から感謝いたします。

不慣れなことも多々あります。が各位のご協力を得て、住んでよかったです「緑が丘」の発展に努力することを心に刻み新年のごいさつとします。

緑が丘地域まちづくり協議会(各種団体長)											
会長	大垣 重昭	副会長	室井 健吾	副会長	新沼 隆三	副会長	岡田 真一郎	副会長	森田 直樹	理事	吉田 博信
事務局長	岡田 真一郎	理事	丸山 忠	理事	吉田 博信	理事	湯浅 芳郎	理事	久保 吉正	理事	久保 吉正
理事	猪俣治太郎	理事	青木紀一郎	理事	青木紀一郎	理事	猪俣治太郎	理事	湯浅 芳郎	理事	湯浅 芳郎
理事	宮内 昌宏	理事	江曾島一丁目自治会	理事	江曾島一丁目自治会	理事	青木紀一郎	理事	久保 吉正	理事	久保 吉正
理事	寺内 利夫	理事	緑が丘体育協会	理事	緑が丘体育協会	理事	江曾島一丁目自治会	理事	湯浅 芳郎	理事	湯浅 芳郎
事務局長	宇都宮南交通安全協会緑が丘支部	理事	宇都宮南交通安全協会緑が丘支部	理事	宇都宮南交通安全協会緑が丘支部	理事	東原北自治会	理事	東原北自治会	事務局長	岡田 真一郎
理事	緑が丘地区交通安全部会	理事	緑が丘地区交通安全部会	理事	緑が丘地区交通安全部会	理事	緑三丁目自治会	理事	緑三丁目自治会	理事	猪俣治太郎
理事	緑が丘地区青少年育成会	理事	緑が丘地区青少年育成会	理事	緑が丘地区青少年育成会	理事	緑二丁目自治会	理事	緑二丁目自治会	理事	青木紀一郎
理事	緑が丘地区婦人防火クラブ	理事	緑が丘地区婦人防火クラブ	理事	緑が丘地区婦人防火クラブ	理事	江曾島一丁目自治会	理事	江曾島一丁目自治会	理事	青木紀一郎
理事	緑が丘地区健康づくり推進協議会	理事	緑が丘地区健康づくり推進協議会	理事	緑が丘地区健康づくり推進協議会	理事	緑が丘地区防犯協会	理事	緑が丘地区防犯協会	理事	湯浅 芳郎
理事	緑が丘地区民生児童委員協議会	理事	緑が丘地区民生児童委員協議会	理事	緑が丘地区民生児童委員協議会	理事	緑が丘地区婦人防火クラブ	理事	緑が丘地区婦人防火クラブ	理事	久保 吉正
理事	緑が丘小学校PTA	理事	緑が丘小学校PTA	理事	緑が丘小学校PTA	理事	緑が丘地区防犯協会	理事	緑が丘地区防犯協会	理事	湯浅 芳郎

✿✿✿ 明けましておめでとうございます ✿✿✿



セブン-イレブン

地域に愛されて23年 宇都宮双葉店

「ゆるやかなつながり」という命綱

緑が丘地区社会福祉協議会  
会長 新沼 隆三

私たち「緑が丘地区社会福祉協議会」の設置目的は、端的には地域住民の社会福祉の増進を図るための、市・市社会福祉協議会が推進する福祉事業への連携・協力にあります。「敬老会・さわ会」「赤い羽根や歳末助け合い募金・日赤社資や市社協会員の募集」がその中心的な活動です。このため、市の三十九連合自治会（自治会総数は約八百）それに、地区社会福祉協議会が設置されています。本会もその一つで、自治会代表、民生・児童委員、福祉協力員等がその構成員です。

令和四年度の本会活動につきましては、コロナ禍による行動自粛の社会的・精神的虚弱というリスクの大きさに鑑み、またこれまでのコロナ禍の経験を活かした上で、「形を変えて、規模を縮小して

も、とにかく実施する」という前提でスタートしました。以下は、その実施概要です。

「さわ会・給食交流会・管外給食会」

管外給食会

ひとり暮らしの高齢者の皆様への月一回の「さわ会」は、

三密防止のため、参加者人数を概ね五十名程度にし、また、担当地区的皆さんによる手作り弁当を外部発注に替えた上での持ち帰りとしました。限られた予算内での実施ですが、地区担当の皆さんのが「細やかな心遣い」という一味が加えられています。

十一月二日の緑が丘小児童との「給食交流会」では、残念ながら教室での給食会は見送りとさせていただきましたが、体育館での児童の皆さんとの交流は、高齢者の皆さんをとても明るく、心豊かにしてくれました。参加者の方からいたいた感想を紙幅の関係で別頁に掲載させていただきましたので、ぜひご覧願います。

【敬老会（記念式典・映画会）】

地区敬老会を九月十九日に実施しました。全対象者約千九百名の皆さんへの記念品の配付と空調設備の使い初めとなつた緑小体育館での約二百名の参加による記念式典・

給食交流会同様三年ぶりの開

これは、コロナの感染拡大



年齢を問わず、今日の社会福祉問題の背景には、「孤立」という共通課題があります。その解消は一朝一夕にはいかない根の深い問題ですが、「対象を絞らないグループへの参加型活動」の着実な実践が有効との研究結果があるそうです。社会福祉充実のカギとなる「安心・安全」が担保される環

に伴う自粛要請により中止された昨年度の計画への再チャレンジで、本映画会を提案された故金田貞夫前連合自治会長の遺訓を偲ぶ機会ともなりました。

境、その前段としての「ゆるやかなつながり」を生み出す土壌づくりに向けて、参加者目線に立った、小さな改善をみんなで積み重ねていきたいものです。

コロナの影響で三年ぶりに体育祭の開催となりました。福田県知事、佐藤市長をはじめ多くのご来賓をお迎えし開催しましたが、怪我人もなく成功裡に終了することができました。

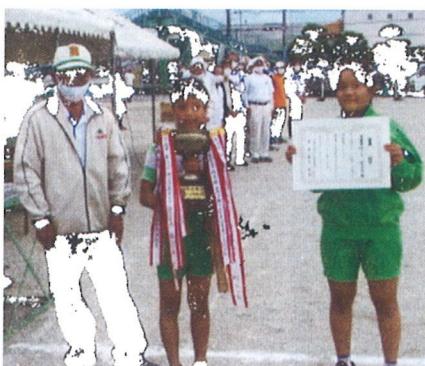
各自治会長をはじめ関係者の皆さんに御礼申し上げます。令和四年度の行事も「密」になるバレーボール大会を除きすべての大会を終了することができました。

また同じく三年ぶりに開催されたコミセン祭にも体協として模擬店で六店舗参加し盛り上げに協力しました。

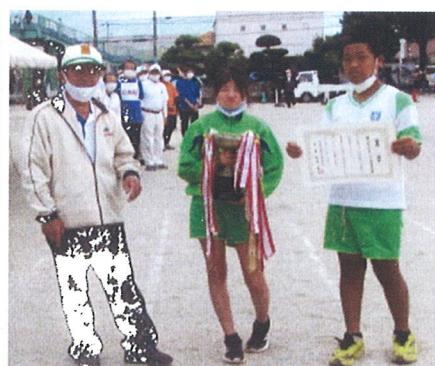
今年も役員一同、コロナにめげずがんばります。



優勝 東原南自治会



準優勝 緑1丁目自治会



第3位 双葉2丁目自治会

## 令和4年度大会成績

	東原北	東原南	東浦	双葉一	双葉二	江曽一	江曽二	緑一	緑二	緑三	最優秀選手
第39回バドミントン大会			第三位	準優勝	優勝	第三位					金澤 英男(双葉二)
第29回輪投げ大会				準優勝			第三位		優勝		井上 良二(緑一)
第50回壮年ソフトボール大会		第三位	準優勝			第三位		優勝			石川 清(緑一)
第50回簡易バレーボール大会											
第24回一般ソフトボール大会	第三位	優勝	第三位			第三位		準優勝			石田 隼人(東原南)
第50回一般バレーボール大会											
第51回 体育祭	第九位	優勝	第四位	第五位	第三位	第七位	第十位	準優勝	第六位	第八位	
得点	[31]	[51]	[45]	[44]	[49]	[39]	[28]	[50]	[41]	[35]	
第30回輪投げ大会				第三位	準優勝			優勝			篠原 宏之(双葉二)
第35回卓球大会			第三位			第三位		準優勝	優勝		村上 茉鈴(緑三)

## 人をつなぐ笑顔の中で

緑が丘地域まちづくり協議会  
事務局長 **岡田 米男**



本会では、三密防止を図りながら、屋外での活動等を中心に、三年ぶりの「コミセンまつり」、昨年度に続く「健康ウォーキング」、そして四十二年ぶりとなる「とちぎ国体」への協力等を行いました。その概要は以下のとおりです。

### (1) コミセンまつり



腹一杯の顔・顔・顔でコミセンまつりを楽しみました。



令和四年十月二十九日～三十日にコミセン本館内外で、カラオケ・作品展・模擬店、コロナ対策のため、三班に分かれ順次間隔を空けて出発し、晴れ晴れとした満足顔で運動公園内を廻り、帰りはお土産を抱え元気に帰路に着きました。

紅葉も深まり色彩豊かな光景の一場面を楽しんだ一日でした。

### (2)

## 運動公園への健康ウォーク

令和四年十一月二十六日(土)

曇り後小雨の天候でしたが、一三四名の参加者で、総合運動公園までの約四kmのコースを一時間ほどかけて散策しました。

コロナ対策のため、三班に分かれ順次間隔を空けて出発し、晴れ晴れとした満足顔で運動公園内を廻り、帰りはお土産を抱え元気に帰路に着きました。

通る人々毎に、「奇麗だね」と見とれている姿の柔らかな雰囲気が漂ってきます。人の慰めとなっています。



### (3)

## 国体の花

国体期間中、会場内の道路にならべられてあつた歓迎用鉢がお役御免となり、当緑が丘地域にも配布され、地域の公園や道路等に飾られ道行く

